

小手先の
 作戦なんかで、
 俺がポンクに勝てるものか。
 俺は王道のテニスをするぞ。

Story

大阪郊外に新設された大学のテニス部を舞台に、
 命燃える人生の短い季節のひとつである
 青春のきらめき、若い命のひたむきさ、危うさ、ある種のいたいたしさを描ききった長編小説。
 主人公の椎名燎平とマドンナの存在の佐野夏子、二人をとりまくさまざまな若者たちの、
 急ぎ駆け抜ける姿や、ためらい立ち止まる姿から目を離すことができない。

作品の世界

作家、宮本輝氏は追手門学院大学の1期生である。
 同大学は山の中にできた大学である。農家がボツリボツリと在るぐらいで、現在のような門前町はなかった。バスも舗装された道路ではなく、畦道を走っていたようなものだったので、雨の日にはスクールバスが運行不能で休講になることもあった。宮本氏は当時の様子を「みんな、『はぐれ者』ばかりでしたね。人間的に豪傑が多かったようです。はみ出し野郎がいたからこそ、全然何もなし所にテニスコートやゴルフ練習場を作っていたのでしょ」と語っている。



1970年代当時の大学の風景と学院配置図



1982年 文藝春秋

ドラマ『青が散る』 TBS 金曜20:00枠 放送期間:1983年10月21日~1984年1月27日 (全13話)

原作 宮本輝
 脚本 山元清多
 演出 高島豊、山田護、八木康夫、吉田秋生
 プロデュース 柳井満
 主なキャスト
 椎名燎平 石黒賢
 佐野夏子 二谷友里恵
 金子慎一 佐藤浩市
 星野祐子 川上麻衣子
 主題歌 松田聖子『蒼いフォトグラフ』

本作品は、石黒賢、二谷友里恵他、多くの俳優のデビュー作であった。「ハバはニュースキャスター』『オヤジ。』『恋を何年休んでますか』『はいすくーる落書』『十年愛』などで有名なプロデューサーである八木康夫が当時ディレクターとして参加している。

王道と霸道

この言葉は物語のキーワードのひとつ。
 王道がある限り霸道があり、
 ふたつの道は、まったく逆なのでしょう。
 しかし、これらは同じ強さを持っているのです。
 現在わたしたちは、青春そのものである
 “王道スタイル”を忘れたのではなんでしょうか。
 本当の強さとは何か...を教えてください。

- ※王道: 儒教の理想とした政治思想で、古代の王者が履行した人徳を本とする政道
- ※霸道: 兵略で、武力・権謀を用いて国を治めること 霸道の政道